

かわにし

議会だより



夢に向かって走れ
「まどかカップ」

経済危機対策に4億2652万円 … 2

議会半期交替スタート … 6

合併問題 2議員が町政をただす … 8

国の補正予算を受けて 経済危機に4億

対策関連

2652万円

6月
定例会



小中学校の教育用コンピュータを整備



道路



水道



教育

25事業を実施

国の臨時交付金 2億4720万円

6月定例会のあらまし

6月定例会が6月9日から19日までの11日間の会期で開催しました。
繰越明許※2件、土地開発公社、体育振興公社、ダリヤパークサービス経営状況の報告を受け、補正予算の専決処分4件、財産の取得1件等が議決された後、条例2件、補正予算5件を各常任委員会、予算特別委員会で審議しました。
一般質問には2議員が合併問題、特産品紅大豆等を取りあげ、町政をただしました。
最終日に、付託された議案の採決後、経済危機対策関連事業の補正予算が上程され、全議案が可決されました。また、2件の請願を採択し、国道113号鷹ノ巣道路の事業凍結解除を求める意見書等4件の意見書を可決しました。

※「繰越明許」 翌年度に繰越して使用することができる経費。

大塚
梅津新太郎さん

商売をしています。景気対策が実を結び町民が潤い商売が繁盛することを期待しています。



中郡
渡部 忍さん

雇用対策によりJAで働いています。景気が本格的に良くなり雇用が安定することを望んでいます。



天地人誘客戦略



450万円

NHK大河ドラマ「天地人」人気にあやかり、ダリヤ園内天地人コーナー設置、歴史マップの増刷等、町への誘客宣伝を行う。

(川西町ゆかりの大河実頼は直江兼続の弟、
— 配役 小泉孝太郎)



浴槽センターまどかの利用拡大をはかるため、浴室整備、屋根塗装、宿泊棟客室13室、ロビー、休憩室のテレビ更新、湯量の調査等の事業を行う。

まどか施設整備

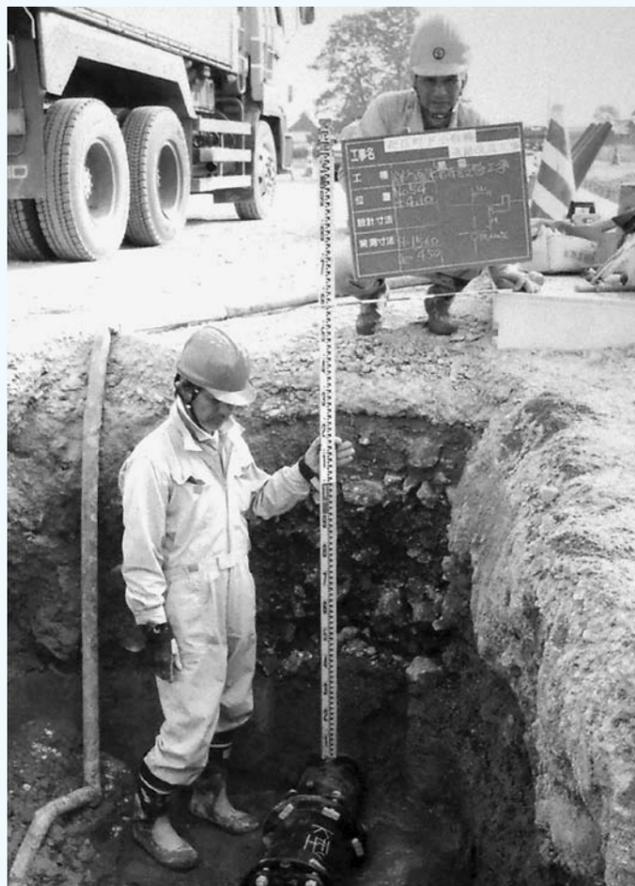
3800万円

その他の主な事業

- 小松小学校周辺道路舗装整備 **262万円**
- 学校施設整備 **1590万円**
- 地上デジタル化対応テレビ導入 **815万円**
- 役場庁舎の冷暖房等改修 **4512万円**
- ハイブリッド公用車購入 **240万円**
- 町営野球場整備 **1150万円**
- 農村環境改善センター整備 **650万円**
- 町民総合体育館卓球台整備 **350万円**
- プレミアム商品券発行補助 **420万円**
- 緊急雇用創出 **1104万円**

**補 正
予 算**

経済危機対策関連 ブームイン



水道事業は料金値上げを行いながら、経営改善に取り組んでいるが、町水道の給水管は石綿セメント管が約50キロと県内随一で、これまでも早急の更新が望まれておった。今回約1200メートルを整備する。

2500万円

水道老朽管更新



1億2000万円

道路補修

町道の路面の痛みが激しい箇所を補修するもの。雑魚田茨虫線、玉庭東線、南荒井三枚床線10キロを舗装する。国費補助2分の1。

教育用パソコン整備

3591万円

町内小、中学校の授業用パソコン、校務用パソコン、周辺機器を3591万円で整備する。



下小松古墳群整備

1500万円

進入路の舗装、駐車場敷砂利舗装、遊歩道整備、看板、トイレの設置等、古墳群全体を整備する。



ケーブルテレビ加入促進

1500万円

町内全域にケーブルテレビ網を整備する事業が実施されている。加入促進のため、各世帯に設置される受信機購入の費用1万円の2分の1が補助対象。



火災警報器設置

207万円

町条例により、平成23年までに各家庭に火災警報器の設置が義務付けられている。福祉灯油券交付対象545世帯に設置される。



**東 沢
後藤 勤さん**

今回の高齢者世帯への火災警報器設置事業は大変素晴らしいことです。今後は一般世帯にも期待します。



自主自立なら青写真を示せ

町長―さまざま活動団体と協議する

座談会の報告は

体の流れの中で適期に示したい。

話し合いの計画は

高橋 2月21日～2月27日の間、合併協議会設置に向けた直接請求を受け、各地で座談会が開催された。

その内容が報告されていないが、まだ整理されていないのか。

町長 全ての地区で実施し134名の方々にお越しいただいた。最終的な報告は、現在も直接請求の手続きが進行中であり、全

高橋 米沢市長、米沢市議会両者とも正式に合併協議会を設置して、話し合いをしようとした。今後とも合併について話し合いをする計画はないのか。

町長 現時点での話し合いは想定していない。

高橋 自らのマニフェストにある合併問題について説明責任を十分に果たしたと思っているか。

町長 折に触れて議会でも説明する。

高橋 町長自身、合併でなく、自主自立で進むならその青写真を示すべきではないか。

町長 合併新法期限内での合併は現実的に極めて困難である。新法期限後の合併についても、合併の議論を



高橋輝行 議員

続けること自体想定できない。自主自立の観点については、さまざまな活動団体との協議が必要である。

紅大豆の振興策は

高橋 平成19年度から町の推進作物として奨励している紅大豆の豆代金が未精算であるが、その状況は、また、町の今後の支援策はどのように考えているのか。

町長 「川西町紅大豆生産研究会」の

役員が借入し支払いされた。平成19年度産の精算払いはいよいよ5月にされた。町の支援策は、農商工連携を図り、特色ある作物として、引き続き「プロデュース&サポート」する姿勢で臨む。収益性については分析検討する。



紅大豆を町の特産に

合併すると交付税はどうか

町長―交付税は30億円減る。

3月までの合併は、交付税の削減もあり無理

齊藤 一市一町合併の直接請求が行われ、3月議会で町長が意見を付し、合併協議会設置規約を提案した。そのとき町長は、きわめて重要な案件であり、説明会や意見の聴取の場が絶対に必要と述べている。

合併協議会が設置された場合は、どのような立場で会議にのぞまれるか。

町長 合併の是非も含め、町民との意思疎通を図りながら、「名称」「合併方式」「対等吸収」「合併の期日」「新市の所在地」の合

併基本四項目は重要なので真剣な議論を行う。

4月以降の合併はありうるのか

齊藤 新合併特例法の期限である来年3月までに合併は可能か、また、その後も合併はすべきか。

町長 新合併特例法の期限内の合併は、きわめて困難。来年4月を過ぎるの合併は、交付税が削減され、考えられない。

協議事項は三千にも及ぶ

齊藤 合併協議会は、多くの項目について協定を結ぶことになる。その際の町民に

対する説明や意見集約はどうするのか。

町長 合併の基本四項目をはじめ、税金や保険料、補助金、交付税、通学区域の取り扱い等3000を超える事務事業の調整が必要。合意を得るには、最低でも一年はかかる。

交付税は30億円も減る

齊藤 町の運営で大切なのは台所事情。合併しないと川西町はだめになるのかとの意見もあるが、合併に伴い国から受けられる交付税は、おおよそいく

らなるのか。

町長 今米沢市と川西町合わせた交付

税額は、120億円。これが合併すると六年目から削減され、十年後には92億円となる。

来年の4月を過ぎるの合併となると、再来年の4月以降は交付税約30億円が削減される。



齊藤智志 議員



平成23年4月開校

新校名

「川西中学校」に

平成23年4月に開校する新しい中学校の名称を「川西中学校」とする条例を、総務文教常任委員会で審査した。委員会では、玉庭小・

中学校寄宿舎のように、今後利用が見込めない施設や、統合により生じる空き施設等の活用を遅滞なく行うよう意見を付して、全員賛成

で決すべきものとし、本会議に報告した。これにより、川西一中、川西二中、玉庭中の統合が決定し、一町一校となる「川西中学

校」の開校に向け準備が進められる。全員賛成により可決

新しい中学校に期待します！



川西一中生徒会長 松浦勇太 君、副会長 片倉瑠香 さん

千代田クリーンセンター 搬入路を拡幅

置賜広域行政事務組合の千代田クリーンセンター（ごみ焼却施設）への搬入路、余熱

利用施設のアクセス道路は、道路幅が狭く、自動車のすれ違いにも支障があり、改修整備が要望されていた。

この道路は河川敷であるため国土交通省と協議が続けられ、協議が整ったことから、拡幅整備に着手する。事業には、高畠町の

町道認定が必要であるが、一部川西町分（51・5㍓）があるため、区域外認定の承諾を求められた。工事内容は、夏目橋

を起点とし、延長1440㍓、幅員5・5㍓、総事業費2億1200万円。12月に発注予定。全員賛成により可決



拡幅される搬入路

企業立地の促進

緑地面積率緩和

企業立地促進法の特例を活用し、工場敷地の緑地率を10%まで緩和する条例が可決された。

あるか。

産業振興課長 企業に

は、固定資産税を三年

間免除する。町はその

75%を国から地方交付

税で補てんされる。

また、設備投資の特

別償却や所得税・法人

税等の軽減措置がはか

られる。全員賛成により可決



造成予定地（米沢ケミコン）

質疑

問

企業立地促進法の集積エリアに指定されると、企業にどのようなメリットが

鷹ノ巣道路・継続して

4意見書を採択

新過疎法制定を求める

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は平成22年3月で失効するが、過疎地域が果たす多面的・公共的機能を維持していくには、過疎地域の振興を図り、

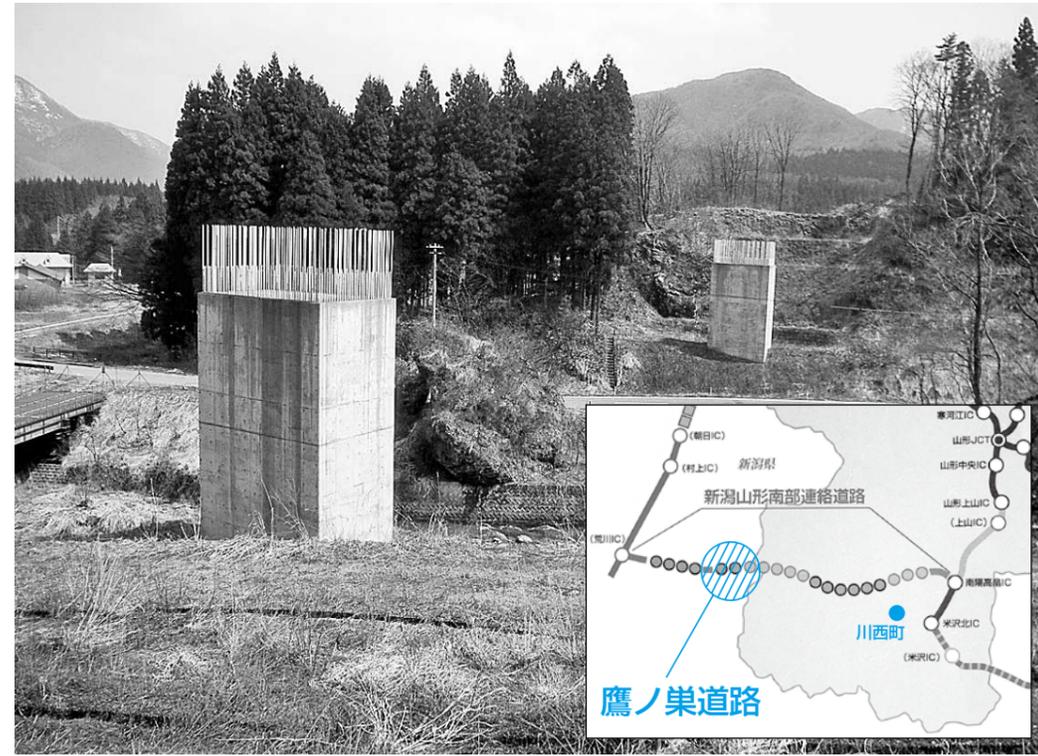
そこに暮らす人々の生活を支えることが重要である。よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

全員賛成により可決

生活・雇用を守って

格差社会是正と勤労貧困層の解消に向け、全ての国民に仕事を通じた社会参加と所得保障を確立するため、社会的セーフティネットの再構築を求める。

賛成多数により可決



工事が凍結された新潟県関川村の鷹ノ巣道路

県内初 新型高規格救急車購入 高水準のゆとりと性能



緊急出動、緊急搬送にこたえる

救急救命体制に万全を期すべく、既存の救急車の更新整備を図り、県内初の徐細動器を装備した高規格救急自動車を購入する。平成20年度における救急事故の発生状況は、出動件数617件、搬送人員616人。1日平均1・7回の出動、町民の約29人に1人が医療機関に搬送されたことになる。今回の高規格救急自動車の購入により町民の方々の更なる安心・安全が確保される。購入価格3767万円

全員賛成により可決

願 情 請 陳

請願採択

◎勤労者貧困層の解消に向けた社会的セーフティネットの再構築を求める請願

《請願者》

日本労働組合総連合会
置賜地域協議会

議長 金子 浩

全員賛成により採択

◎労働者派遣法の抜本改正を求める請願

《請願者》

置賜地域労働組合
総連合

議長 渡辺 豊

全員賛成により採択

継 続

◎「協同労働の協同組合法」(仮称)の速やかな制定を求める請願

《請願者》

「協同労働の協同組合」法制化を目指す市民会議やまがた

代表 森田眞理

請願取下げ

◎「非核日本宣言」を求める意見書採択についての請願

《請願者》

原水爆禁止山形県協議会

代表委員 情野貞一

陳 情 書

◎肺炎球菌ワクチンの公費助成に関する陳情

《陳情者》

山形県保険医協会
理事長 國井兵太郎

表紙の写真



6月13日、第5回「まどかカップ」がダリア公園で開催された。我町からは、幼児の部で唯一5歳の渡部空ちゃんが先頭集団を引っ張って完走。彼女は、父の影響で自転車に乗り始め、昨年までは補助輪をつけていた。今は補助輪から開放され、空を飛ぶような感覚で走れて楽しいと語る。我町には、自転車で遊んでいる幼児や小学生が多い、子供たちに声をかけ参加させてほしい、親子の絆は必ず深まる、と主催者の中心メンバーである「チーム白猿」の本間さんは語る。

まちの未来が見える 議会傍聴において下さい 次の定例会は9月です

この一年間の議会傍聴者数

平成20年9月定例会	7人
// 12月 //	17人
平成21年3月 //	68人
// 5月臨時会	1人
// 6月定例会	5人
合計	98人

議会だより

町民参加の紙面づくり

モニター アドバイザー 依頼

議会だよりモニターから、合評や意見をいただいでから十年にわたったが、このたび六期目の委員を委嘱した。また、編集の充実を期して、新たにアドバイザーを委嘱し、写真や文章など編集技術の助言をいただくこととした。いずれも任期は二年。

- 議会だよりモニター
- 竹田 倉一 (小松)
 - 遠藤 節子 (小松)
 - 今泉 敏弘 (大塚)
 - 竹田志奈子 (犬川)
 - 鈴木かおり (中郡)
 - 吉村 徹 (玉庭)
 - 佐藤千恵子 (東沢)
 - 島貫 清一 (吉島)
- 議会広報アドバイザー
- 青木 督平 (大塚)
 - 鴨 源一 (玉庭)
 - 阪野 吉平 (中郡)
 - 小林 伸也 (小松)
 - 近野ユキ子 (吉島)

常任委員会 所管事務調査

次の定例会(9月)までの間、各委員会で課題の調査・研究を行うものです。

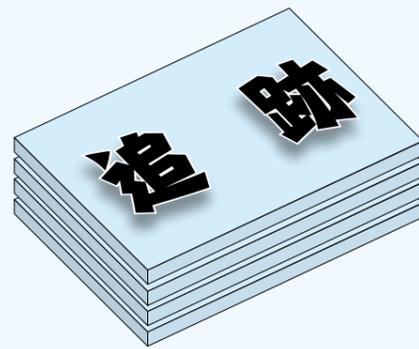
産業厚生常任委員会

農産物加工に関する
視察調査



総務文教常任委員会

教育施設(中学校)の
現状調査



あれから…… どうなった!

放課後児童クラブ(学童保育)

民設民営で20年4月よりスタート



吉島児童クラブ「きらり」

補助対象は3年生までだが、地区内のアンケートで6年生まで受け入れている。開設時16名が現在26名まで増えている。保護者会を年数回開催し情報交換を密に安全・安心の保育を心がけている。

吉島児童クラブ「きらり」

平成20年4月より、保護者が昼間家庭にいない児童を預かり、遊びや生活の場を行う事業として「放課後児童クラブ」がスタートした。利用者も増えており、指導員が交代制で対応している。

ねばり強い働きかけようやく実る



中郡「すぎの子クラブ」

中郡「すぎの子クラブ」

対象児童は、補助対象となる3年生までとしている。開設時は5名から現在9名に増えている。学校との連携はもちろん安全・安心の保育を心がけている。

町民の声



❖ プロフィール ❖

おくむらよしえ
奥村好恵

昭和59年生まれ、福島学院短期大学保育部を卒業後、学校法人天竺学園小松幼稚園に勤務。犬川地区青年団、いぬかわ振興協議会教育文化部事務局として地域の活動にも参加している。

今回の町民の声は、小松幼稚園に勤務され、大勢のごもたちと接している奥村好恵さんに、子育てや川西町について聞いてみました。

「川西町は好きですか」

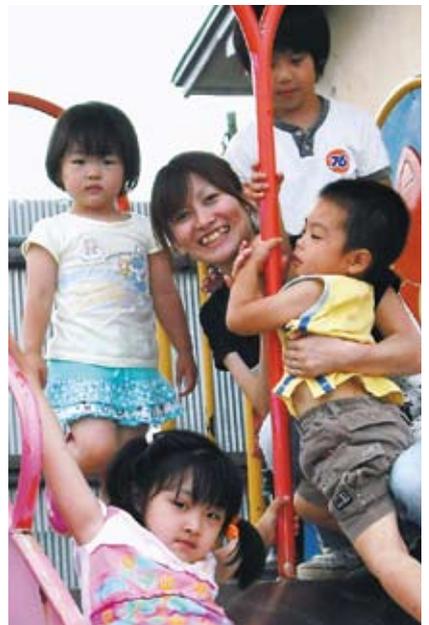
好きです。地域全体が家族みたいで安心できるところがいいなと思います。

「高校を卒業して福島県内に進学されたんですよね」

高校卒業して保育士を目指し福島の短期大学に入りました。最初は楽しく過ごして都会もいいなと思いました。でも近所には知り合いいないし、挨拶しても返事もなく、すごい孤独を感じました。

「将来も（結婚しても）川西町に住み続けたいですか」

微妙ですね。やはり子供がきたら田舎のほうが家族や近所の人たちが一緒に育ててくれて安心して仕事もできるし子供にとってもいい環境だと思います。でも都会に比べて雇用も少ないし、子育ての



体制も十分ではないような気がします。どちらにも良いところがありますね。

「これから子育てするにあたって川西町に望むことはありますか」

そうですね、やはり雇用の場所を増やしてほしいと思います。あと預かり保育や学童保育など気軽に子どもを預けられるところがあと安心して働けると思います。

また、子育て支援事業も改正されて小学生の入院まで助成されるようになりましたが、他自治体では通院まで

助成しているところもあると聞きました。川西町でもそういった制度を導入して欲しいと思います。

「今後川西町で大切にしたいことは」

現在、犬川地区青年団に入って活動していますが、昨年から『いぬかわ夏祭り』も30年ぶりに復活し若い人たちが集まり、地域づくりを活発に進めてくれていると思います。今年も事務局として参加しています。そんな仲間作りを絶やさずにしてほしいですね。

編集のあとで

▼議会の委員会構成替で、議会広報特別委員会のメンバーも替わった。
▼公開度の高い情報を提供し、町民の皆さんに読んでいただける広報を目標に編集することとした。▼そのためモニター制に加え、編集に助言をいただくアドバイザーを委嘱し、紙面の充実を期す。▼内容を一新しての編集を心がけ、早速的確なアドバイスをいただきたい。▼町民参加型の議会広報をめざして一層努力したい。（賢）

- 発行責任者 金子 一郎
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 齊藤 智志
- 委員 高橋 輝行
- 同 高橋 照夫
- 同 遠藤 章一
- 同 橋本 欣一